

あだたら

十月二十一日(日)

湯川溪谷登山道

刈払い作業実施

報告 編集部

発行所
本松市木ノ根
あだたら山の会
編集



14時9分、作業終えて塩沢別れ到着、この晴天

二十一日(日)に湯川溪谷登山道で整備作業を実施した。硫黄精錬所跡(丸札二十七番)の前後、笹が茂って顔に当たり通りにくいという報告があったため、当日は全国一律に快晴という日和、紅葉シーズン真っ盛り、吾妻山浄土平が

入山禁止と言う事情もあつた。登山客・紅葉見物客が殺到すると予想され、集合時間は早めに設定された。午前八時には、無料の第二駐車場も半分以上は入り登山者が列を作った。奥岳登山口に向かっていく様子が見られた。尤も登山者は朝七時から運行開始したロープウェイを指して、我々が目指す勢至平方面に行

●編集部連絡先
二本松市木ノ根1-5-15
0243(22) 4245
渡辺 正

く登山者は少なかつた。午前十時過ぎにはくるがね小屋下「塩沢別れ(丸札二十九番)」到着、笹の様子確認しながら硫黄精錬所跡を指した。当日の作業予定は丸札二十五番から上の笹刈だったので、二十七番の精錬所跡から下と上の班に別れて作業開始した。当日は山開きの日じゃないかと思えるくらい登山者が多く、昔を思い出すという年配者もいるし、若い人も多い。正午過ぎには作業も一段落、精錬所跡で昼食とした。午後は「天狗の庭橋」



硫黄精錬所跡で昼食中

上、沢沿いの「渡り岩」の所が通り難くなっていたので徹底的に刈払った。午後二時過ぎには、作業を終えて「塩沢別れ」まで戻った。下山は勢至平・馬車道を通ったが、下山する登山者が途切れることはなかった。奥岳登山口からは久振りに「重石小屋跡」を経由して午後四時過ぎには第二駐車場に無事下山解散した。会員六名が参加した。奥岳(かさねいし)小屋は「奥岳」が出る以前の登山道添いで「甘酒台レストハウス」上、第二スキー場だけ入ったことがある。今は崩れて残骸が残っているだけだ。



天狗の庭入口上で 笹刈の作業中



27番 硫黄精錬所跡上で 刈払い作業中

二十一日(日)福島市の杉妻会館で県山岳遭難対策協議会の総会が行われ、民間救助隊員二十年勤務の鈴木喜男さんに表彰状、十年勤務の三浦敏男さん、町田勇さんに感謝状が授与された。三浦さんは欠席。記事は福島民報十月二十三日付。



長年、山岳遭難救助に貢献 民間隊員6人を表彰

2018.10.23 県対策協が総会 本宮県民会館
県山岳遭難対策協議会 委員 本宮市山岳遭難対策協議会 委員長 山本浩一氏
福島市の杉妻会館で、民間救助隊員二十年勤務の鈴木喜男さんに表彰状、十年勤務の三浦敏男さん、町田勇さんに感謝状が授与された。三浦さんは欠席。記事は福島民報十月二十三日付。



女性は吾妻山の会員の石井さん、写真は町田さん提供

十月二十二日(月) 県遭難対策協議会総会で表彰 報告 編集部

十月五日 (金)

湯川溪谷の台風被害対応

報告 編集部



丸札12番近くの滑り落ちた二本の木、奥に青木会長

湯川溪谷登山道で整備作業を実施した。連続して襲来した台風のため、倒木やアルミ橋の流出が、登山道通過の支障になっているとの通報があったためだ。五日は午前八時にチェンソー・刈込鋏、鋸などの工具、番線・トラロープ等の資材を準備して塩沢登山口から入山した。湯川溪谷登山道には「丸札」道標があり、場所が特定できるが、その「十二番」あたりで立った形のまま十メートルほど滑り落ちた立木が二本あった。枝や飛び出した根が通過の支

障になっていたのを切り落とした。当面通過に支障は無い。丸札十九番の八幡滝上橋は片側が土台から外れていたのを持ち上げて元の位置に戻した。丸札二十一番天狗岩上アルミ橋・二十番荒竜岩アルミ橋は蛇籠土台毎流出していたのを元に戻した。午後0時過ぎには、くろがね小屋到着屋上、鉄山南壁は今が紅葉の盛り、小屋周りのナナカマドは赤い実を一杯付けている。今回の作業で湯川溪谷登山道通過に支障は無い。



荒竜岩橋、作業前、流木・落葉が詰まっている



天狗岩上橋、作業前、落葉詰まっている



荒竜岩橋、作業後



天狗岩上橋、作業後

十月例会の席上二本松市役所都市計画課公園緑地係員から、湯川溪谷登山道に設置されている「道案内サイン看板(丸札道標)」の「常設化を含む今後の運用について」の意見交換会が行われた。短時間ではあったが、会員それぞれが感じていることを述べた。今後の検討の資料とされる。

十月十一日(木)
例会でサイン看板
(丸札道標)
意見交換会

報告 編集部



くろがね小屋便りの湯川溪谷編丸札番号も入っている (編集部に在庫あり)



八幡滝上橋、流されていた



八幡滝上橋、元に戻した

九月三十日(日)

福島市民体育祭・登山の集い

吾妻・幕滝・麦平

報告 渡辺正



麦平・三叉路

前日午前八時過ぎ吾妻山の会の渡辺会長から電話有り、明日現地で実施可否判断するので午前八時半に幕滝駐車場迄来てくれと言う内容。同行予定の佐藤さんにつちゆで待ち合わせすることにした。

翌朝、道の駅はキリの中。佐藤さんと合流して、私の車で土湯峠へ。鷲倉温泉の上、峠手前で右に折れて幕滝駐車場へ。着いた時は七宮さんの車だけ、やがて続々と参加者到着。雨降っていないなかったので、取り敢えず幕滝迄と言うことで出

発。雨具は上下共装着。旅館の裏の沢に下りて、沢渡って木道や階段などを登る。滝の手前でリーダーの判断で、雨降っていないし、もう少し麦平方面に登ってみようと言う事になった。八時五十分だ。ここからは純粹な山道。所々に看板があった

りするが道標といったものもない。道形だけが頼りだ。キツイ滑る登りは一箇所だけ。やがてオオシラビソが現れてきて、樹林を抜ける。と平地になった。湿原が現れて、左手には山が見えて来た。高山だという。三叉路があって、今日はこの迄だという。十時十三分、一時間二十分の山歩きだった。帰宅して地図確認したら、高山の南側の湿原地帯だった。高山の向こう側が鳥子平になる。麦平という名前は、昔の人がここでビール飲んだ・飲みたかったからだと言う、その人の名

前も聞いたが覚えていない。道難対策地図には括弧付きで「麦平」と書いてある。この三叉路は大穴火口から三キロ程離れていて、一・五キロの立入禁止区域からは外れている。休憩もそこそこには下山開始。十一時二十二分には幕滝手前分岐に着、下山は一時九分。ここから幕滝へ。写真撮るのでみんなからは遅れる。岩も木道も滑るが登りなので気にならない。滝に着いて、全昇撮ったら、みんなは既に下ってしまっていて一人残っていた。さて下ろうと思ったら岩で滑って横に転んだ。立ち上がって木道に上がった足が滑って立っていない。木道には棧が打ってあるがそれも滑る。その

個人山行

朝日馬鹿も卒業に成るかも

報告 菅野善雄

私があだたら山の会に入会したのは平成十七年(六十五才)、山友を多く欲しいと思いつき、会山行には積極的に参加。新会員は会山行の報告を出す様にと先輩から言われた事や、新入会員の歓迎登山、私の時は花塚山、雪の中の山行だった。あたたかなナベで心も体も暖かくなり、今も思い出す。

山の会入会二年目、先輩から誘われ朝日連峰に入った時の感動・楽しさが私を「馬鹿」にしたのである。十月になると朝日連峰が呼んで居る様で、足が向いてしまう。今年も十月九日、十日、白滝登山口から入山

小朝日岳を計画。白滝登山口が荒れているためあきらめ、朝日鉱泉よりの入山と成る。入会して十三年、身体も歳も重く成り、後遺症の回復が長い時間がかかる様に成ってしまった。我ながらガツカリ、色々考える事が来たのかな、そんな思いに成ってきた。

うち吾妻山の会の人(顔覚えていないが名前覚えていない)が上って来て写真撮ってさっさと下がる。腰が引けて難渋しているところを見て大丈夫かという、大丈夫と答えたが本当は大丈夫じゃない、その人はさっさと滑りもせず下がってしまった。また一人になった。橋がある。川面まで三メートルはある。橋は下りて橋板は左に傾いている、手摺は無い、棧が打ってあるが、傾いた橋の端に打ってあって滑ったら川にポチャンだ。どうやって渡ったか覚えていないが、川に落ちずに通過。麦平への分岐を過ぎ鳥居を過ぎて、沢渡ったところで休憩中のみんなと合流。先程の吾妻山の会の

人、佐藤さんにあの人苦労しているよと伝えたいようだった。十二時七分には、幕滝駐車場に無事帰着、解散となった。幕滝への道木道も橋もあります。ただ手摺りなどは無いし良く滑る。帰りは木道も橋も下りになるので本当に恐ろしい。雨の後など、橋、木道が濡れているときは、決して近づかない方がよるしいかと。

私と朝日連峰 菅野善雄

年	月	日	入山口～下山口	参加者
19	9	26～27	天狗口(バカ平)～天狗小屋～二ツ石～狐穴小屋泊、寒江山～竜門山～日暮沢口	4
19	10	29～30	泡滝ダム口～以東岳～狐穴小屋泊、以東岳～オツボ峰～大鳥小屋～泡滝口	2
20	9	26～27	古寺鉱泉～鳥原小屋泊、小朝日岳～大朝日岳～古寺山～古寺鉱泉口	1
20	10	26～27	日暮沢口～清太岩山～竜門小屋泊、大朝日岳～古寺山～花ノ木峰～日暮沢口	2
21	8	16～17	天狗口(バカ平)～紫ナデ～障子ヶ岩～天狗小屋泊、電ヶ池～焼峰～天狗口	1
21	10	29～30	朝日鉱泉口～中ツル尾根～大朝日小屋泊、平岩山～御影森山～朝日鉱泉口	3
22	8	20～21	古寺鉱泉口～鳥原小屋泊、小朝日岳～古寺山～古寺鉱泉口	2
22	10	27～28	泡滝ダム口～大鳥小屋泊、以東岳～三角峰～大鳥小屋～泡滝ダム口	6
23	10	3～4	天狗口(バカ平)～龍ヶ池～天狗小屋泊、障子ヶ岳～紫ナデ～天狗口	3
24	10	16～17	古寺鉱泉口～鳥原小屋泊、小朝日岳～大朝日岳～古寺山～古寺鉱泉口	4
25	10	26～27	泡滝ダム口～大鳥小屋泊、雨天 以東岳あきらめ 三角池～大鳥小屋～泡滝口	5
26	10	9～10	古寺鉱泉口～鳥原小屋泊、小朝日岳～大朝日岳～古寺山～古寺鉱泉口(会津の友も入る)	5
27	9	29～30	古寺鉱泉口～鳥原小屋泊、小朝日岳～熊越～古寺山～古寺鉱泉口	2
28	9	28～29	天狗口(バカ平)～天狗小屋泊、雨天 天狗口へ引き返す	3
28	10	19～20	日暮沢口～清太岩～竜門小屋泊、強風 日暮沢口へ引き返す	4
29			足骨折で入山無し	
30	10	9～10	白滝口あきらめ朝日鉱泉口～鳥原小屋泊、小朝日岳～鳥原小屋～朝日鉱泉口	4
			他に 日暮沢口入山～竜門小屋泊、大朝日岳～古寺山～古寺鉱泉口 祝瓶山荘～祝瓶山 2回あり	